Yachiyo-city
Tokyo Bay
CHIBA Pre.

たから
財やちよ

No. 5
2021. 2. 22
（令和３年）

八千代市
文化財
通信

特集　八千代の獅子舞

現在に伝わる獅子舞は，もとより我が国に古くからある鹿舞（ししまい），猪舞（ししまい）が起源とも，また 7～8 世紀頃に中国から伎楽や舞楽とともに伝わってきたとも言われています。いずれにしても，獅子舞を舞うことには「悪魔祓い」等といった人々の様々な想いを伴って全国へと広がっていきました。

獅子舞には大きく分けて二つの種類があります。

①二人立ちの獅子舞

一匹の獅子に二人で前足と後足になって舞います。伎楽や舞楽に取り入れられていることから，「伎楽（ぎがく）系の獅子舞」と言われ，一般に「獅子舞」と言われるものです。

②一人立ちの獅子舞

一匹の獅子頭を一人で被って獅子頭をかぶり，太鼓を付けて舞います。数は複数で東日本では三匹が多いですが，中には九・十三匹のものもあります。中世の歌舞の風流（ふりゅう）から発展したことから，「風流（ふりゅう）系の獅子舞」と言われます。

八千代市内ではかつて 10 か所で獅子舞があったことが確認されていますが，現在では「佐山の獅子舞」と「勝田の獅子舞」の２件のみとなり，市指定文化財になっています。両方とも②の一人立ちの三匹獅子舞です。今回はこの八千代市内の２件の獅子舞についてご紹介します。

佐山の獅子舞

佐山の獅子舞は毎年９月２３日の彼岸の中日に「五穀豊穣」と「悪疫退散」を願って午前から昼にかけて熱田神社で，夕方には妙福寺で舞われます。このことから俗に「ヒガンジシ」とも言われます。

佐山の獅子舞は江戸時代に始まったと考えられますが，はっきりした記録はなく，およそ 300 年以上前ではないかと地元で伝わっています。

獅子は「オヤジシ（親獅子）」，「ナカジシ（中獅子）」，「メジシ（女獅子）」と呼ばれる三匹です。舞の概略は，三匹が一緒に入場し，一緒に舞っていますが，オヤジシとナカジシが喧嘩し，はじめのうちはナカジシが勝ちますが，その間メジシはそこから離れたり，見ていたりします。これが「メジシ隠し」と言われるもので，最後には仲直りをして三匹が一緒に退場して終わりとなります。

舞には「オオガカリ」と「カコイ」の２種類があり，必ずセットで舞われます。オオガカリは足がつ

○佐山の獅子舞

午前10時ころ，熱田神社の神前に獅子頭が供えられ，役員・関係者一同が集まり，神事が執り行われます

午前11時ころ，オオガカリを約1時間半くらい舞います。

神社でのオオガカリの様子

お昼休憩の後，午後1時ころからカコイを約1時間半くらい舞います。

幟旗・高張提灯・花笠・三匹獅子・笛が隊列を組み，道笛を吹きながら妙福寺に移動します。

妙福寺へと入ります。

休憩後，妙福寺において境内でオオガカリとカコイが舞われます。

寺でのカコイの様子

○勝田の獅子舞

円福寺に集まり，モトギリをハンシバ舞います。

ほら貝を先頭に神主・笛吹き・三匹獅子・太鼓・長持ちの順に道笛を吹きながら駒形神社に向かいます。

神社に到着後，残りのハンシバを舞って休憩に入ります。

休憩後モトギリが舞われた後，拝殿において大同団役員が旦那衆から盃を受け，オヒネリがまかれます。

オヒネリがまかれた後，ハタガケが舞われます。

ハタガケが終わった後，神主の口上が述べられた後，手踊りとミノコ踊りが演じられます。

円福寺に戻った後，寺の境内でモトギリが舞われます。

その後，手踊り・ミノコ踊りを全員で演じて終了となります。

ま先から入るので，腰を高く上げる動きをします。カコイはかかとから付けるので重心を低くとる傾向があり，オオガカリの「動」に対し，カコイは「静」というイメージがあります。

舞の途中に入る謡の歌詞は次の①から⑩までがあります。

①ちはやぶる　神の鳥居をくぐるには　けがれ不浄はちぢくもとなる
②ちはやぶる　神の鳥居を今くぐるには　四方えがき黄金なるかや
③ちはやぶる　神の御塔を教ゆるに　いざやかぐらは舞い遊ぶ
④此の獅子は　悪魔を祓う獅子なれど　神に恐れて打ち投げた
⑤十七や　胸にさぶりた二つ玉　あれを一つな国の土産に
⑥鹿島より　かすみ面を眺むれば　おにの死がいは波にゆられり
⑦さらさらと庭のいちごと踏み分けて　寺へ参るも後の世のため
⑧大寺の　香の煙は細けれど　天へのぼりて黒雲となる
⑨峯七つ　谷九つ来て見れば　さてもみごと建てし宮かな
⑩はやはやと　おいとま申せ友達に

舞の途中に上記の謡が三か所入りますが，神社でのオオガカリでは①②③，神社でのカコイでは④⑤⑥，寺では常に⑦⑧⑨，その日の最後には⑨を⑩に換えます。

勝田の獅子舞

勝田の獅子舞はかつて９月１日の二百十日の日に円福寺と駒形神社で行われていましたが，現在では９月の第一日曜日に行われています。この時期は台風が一番多く襲来する日とされ，農家では厄日とされ，各地で風除（よ）けや風水害除（よ）けの行事を行っている所が多くあります。勝田の獅子舞も，獅子（＝竜神）を鎮めるために獅子舞を舞って，「水伏せ」を念じるとともに五穀豊穣を祈ったことが起源とされています。獅子はオヤジ（男），セナ（子），カカ（女）と呼びモトギリ（初心者），ハタカケ（修練者），タネ（先輩格）の順に舞います。午前中はハンシバ（半分）舞って，そのままで神社に移ります。隊列はほら貝を先頭に榊を持った神主，笛，三匹獅子，太鼓，長持の順で，神社において残りのハンシバを舞って中休みをします。午後は神社でモトギリ，ハタカケ，タネの順に舞い，その後全員にて念仏を唱えながら，手踊，ミノコ（みろく）踊を踊ります。獅子舞の合間に言う念仏は次のとおりです。

①さらさらと庭のいさごを踏み分けて　寺に詣るは後の世のため
②ここはどこ　ここは鎮守の庭なれば集まりたまえ　四方の神々
③日は暮るる　獅子のたぶさに露がおり　はやはやとおいとま申せ友達
④ちはやぶる　神のいがきに弓張りて　向こう矢先で悪魔たゆらむ
⑤鹿島より　竜見ヶ浦を望むれば　鬼の死骸が波にゆらゆら
⑥南座で　何が鳴るやと出て聞けば　稲穂揃えて秋風の音
⑦去年竹　今年小竹を植え混ぜて　二年小竹　節が揃わむ
⑧大寺の　香の煙は細けれど　天へ昇りて雲となりけり
⑨はやはやと　おいとま申せ　友達

モトギリの時は①⑨を唄い，ハタガケは④⑤⑨を唄います。他は現在唄っていません。

編集・発行：八千代市教育委員会文化・スポーツ課文化財班
〒276-0045 八千代市大和田 138－2
電話 047(481)0304